

2009年度鉄緑会大阪校 合格者の声

超ハイレベルかつ発展的基礎を学べる塾

僕は鉄緑会に高1で通い始め、高1、高2で英語、高3で英語、数学、物理を受けていました。なぜ高1から通い始めたかということ、学校の先輩に鉄緑について尋ねた時に、カリキュラムの関係上英語は高1から通うのが良いとすすめられたからです。しかしこれは必ずしも正解とは言えませんでした。というのも、中3まで鉄緑で文法などの基本事項をもなく勉強してきた人達に追いつくのは大変だったからです。A3で入塾した当初は、SAの人との間に大きな壁を感じました。実際最後まで追いつけなかった人もいますが、(鉄緑にはそういうすごい人達がいるのでモチベーションがあがります)全国的に見ればある程度高いレベルで安定した点数を取れるようになりました。

英語以外の教科のうち、数学と物理は高3から鉄緑に通い始めました。というより、高2まで部活に全力をかけていた僕は高3までその時間がなかったのです。当然高3から通い始めるということは、高1から通い始めた英語よりもはるかに大変でした。それでも、当時の数学科主任の中川先生や、物理科主任で、チューターとしてもお世話になった新井先生の、発展的基礎をうまくまとめて下さる授業や、良問が多いテスト、問題集、プリントによる大量の演習により、僕の実力は高3の一年間で飛躍的に伸びました。余談ですが、先程発展的基礎と書いた、入塾レベルでの基本事項をうまく組み合わせることで、東大、京大の入試問題でも解けるものは多いです、そのようなものをどれだけ確実に正解できるかが合否の鍵だと思います。

また、節目の時期に行われる「面談」では、レギュラー授業の先生以外にも、講習でお世話になった数学の鶴田先生や化学の武田先生から、勉強方法や僕の弱点分野などについての的確なアドバイスを頂き、時には弱点補強のための演習問題も頂きました。おかげで弱点を一つ一つ潰していき、2月末にはきっちり合格できる実力まで高めることができました。

僕が合格するためには鉄緑会の授業、テキスト、そして多くの先生方が不可欠でした。3年間ありがとうございました。 東大理Ⅲ N・N(灘卒)

クラス落ちの逆境をチャンスに

志望校に何とか合格できた今、自分の受験生活を振り返ってみると、最大のターニングポイントとなったのは高1の第2回校内模試だった気がします。それまでは英数共にSAでしたが、2教科ともA2に落ちてしまい、暫くはショックで立ち直れませんでした。しかし、これを精神的にたんでいた自分への戒めととらえ、謙虚な姿勢で鉄緑の教材をこなすようになることが出来たからこそ、数学は半年でSAへ、英語も高3にはSA—2へ上がり、高3の1年間は順調な受験生ライフを送れました。

これから受験する後輩へ一番伝えたい事は、逆境(校内模試でクラスが落ちた、模試で悪い判定を取ったなど)はチャンスだという事です。自分を冷静に見つめ直し鉄緑の先生と教材を信じてついていくことが出来れば必ずや逆境を脱し、合格が見えてくるはずですよ。

最後になりましたが、質の高い教材、テストを作り続け、勉強面、精神面で様々なサポートして下さいました先生方へ。本当にありがとうございました。 東大理Ⅲ W・Y(灘卒)

演習量十丁寧な解説

鉄緑会に通って良かったと思うのはまずその演習の多さです。授業では毎回たくさんの長文問題を解き、その後先生が丁寧な解説を加える形で、また、英作文も宿題としてたくさん練習できて、しかもこちらも丁寧な添削をいただきました。クラスは本当に少人数なので、大人数の場合と違って1人1人が時々先生にあてられて問題に軽く答えたりなどということもできて、また、毎回のテスト形式の演習では、他のみんながどれくらい点数だったかもプリントに書いてあるので、クラスのレベルの高さを感じて気を引きしめることができました。先生は、定期的に面談を用意してくださって、何でも相談できますし、(例えばおすすめの参考書など)本当に頼りになるとおもいます。長い間お世話になり、本当にありがとうございました。

東大理Ⅲ A・S(灘卒)

英語のさまざまな基礎を習得

僕が鉄緑会に入ったのは中学1年の時でした。小学校の時に習っていた英語は文法について何も語らず、どういうルールで言葉をならべるか全くわからなかったの、あまりにためにならなかったように思います。両親は英語が不得意で苦勞したらしく、そのため僕は英語を鉄緑会で学ぶことを強くすすめられました。今にして思えば、あの時に英語を鉄緑会で学び始めなかったら、きっと英語をきちんと理解することができず、英語が苦手なまままで理科3類に入ることにはなかつたでしょう。中学1年生の時に、例文をただひたすら書きうつし、分からない単語をまとめることを何度としましたが、こういう地道な事によって、英語のさまざまな基礎を習得することができました。しっかりと英語を勉強するように導いてくれたことも大きかったです。通常授業で英語以外をとることは最後までありませんでしたが、物、化の春期や夏期などの講習をうけた時、そのレベルの高さにショックをうけました。自分では理科ができると思っていたものの実際には解くのが遅かったり、知らない事が多くあって愕然としました。その穴をうめるには入塾の直前までかかりましたが、それには物化の直前講習が大いに役に立ちました。鉄緑会の先生達は熱意をもって教えてくださり、分からない事をどれほど多く質問しようとしても真剣に答えてくださいました。

最後になりましたが、長い間お世話になりました。ありがとうございました。

東大理Ⅲ F・S(灘卒)

鉄緑での6年間

私は中1から鉄緑会に通い、英数共にSAクラスでした。鉄緑会の英語・数学のカリキュラムは中学のうちからどんどん先へ進んでいくので、早めに受験のレベルに達することができ、演習をたくさん積めるのでよかったです。

高3の数学SAクラスでは、本番と同じように、6問を150分で解く形のテストゼミが毎週行われました。毎週、本番の練習ができたので、制限時間内に解ける問題を見極めて解ける問題から解く、ということにも慣れて、緊張もなく本番を迎えることができました。また、クラスの他の生徒のレベルもとても高かったです。

最後になりましたが、お世話になった先生方にはとても感謝しています。ありがとうございました。

東大理Ⅲ U・A(神女卒)

鉄緑の課題を普通にやれば学校の考査は実力でトップレベルに

僕は、高3の4月から鉄緑会に入塾しましたが、正直、それまで最難関高校で学年トップをキープし続けた人とかでない限り、かなりしんどいと思います。実際、英数物化とも一番上のクラスでは、中1からコツコツやっていた人が多く、遅くとも高1のうちにには入っていた人ばかりでした。だから、本当に可能限り早く入ることを勧めます。特に英数は、中学の頃から真剣にやらないと理科が間に合いません。

ところで、もう高校に上がってしまっていて、鉄緑に入っていない人でも間に合います。僕自身は高3に入りましたが、先生も生徒もすごくいい人たちで、すぐにとけこめました。それに、後から入った人にも以前のプリントを下さったり、面談して下さったりと、フォローは十分でした。

ここで、鉄緑会の特にいい所を挙げると、仲間と先生です。たとえ理Ⅲに受かったとはいっても、クラスに僕よりもできる人はどの科目でも10人はまちがいないし、そのおかげで常に上を意識し続けることができました。先生についても、どの先生も本当に親切で、熱心で、ただついていだけで十分理Ⅲに合格できるレベルまで引き上げていただきました。

僕の学校は洛南ですが、学校と鉄緑は、両立することは難しくありませんでした。というのも鉄緑は進度が学校より圧倒的に速く、鉄緑の課題をこなしていれば、学校の考査は何の対策もしなくても、トップレベルの点が取れるからです。だから、「まだ学校ですらトップでないのに鉄緑なんて通っても意味ないやん」というのは間違いで、学校でトップになるには、鉄緑の課題を普通にこなすだけでいいのです。実際、洛南のトップ層はほとんど鉄緑でした。

最難関といわれる国立医学部に入るには、最高の環境で努力するのが最も確実であり、その環境こそが、鉄緑会であると思います。鉄緑の仲間達、そして、鶴田先生、武田先生、岡先生、新井先生、中川先生、本当にありがとうございました。

東大理Ⅲ I・K(洛南卒)

鉄緑会での6年間の反復演習が高い合格率の要因

私は中1の時に鉄緑会に入会し、高3まで主に英数をとっていました。鉄緑会では高1くらいまでは、英数ともに高校課程まで終えます。つまり、この段階で典型的な入試問題は頑張れば解けるということです。

高2、高3では、更に内容を深く掘り下げつつ何度も反復をくり返していくのですが、この何度もくり返して確実に自分のものにする、というカリキュラムこそが鉄緑会の高い合格実績の一番の要因だと思います。完成度の高い鉄緑会のテキスト、カリキュラムは他には類をみないもので、鉄緑会の毎回毎回の授業を確実に自分のものにしていくだけで、確実に自分の目指す最高の大学に合格できます。

最後になりましたが、私を支えて下さった周りの方々6年間ありがとうございました。

東大理Ⅲ A・S(洛南卒)

中学では1番下のクラスでも、高1ではSAへ

鉄緑会に入ったのは、中1でした。中学の時は部活をやっていたので、曜日の都合もあって、ずっと一番下のクラスにいました。しかし鉄緑の授業を真剣に受けることで、高1の後半から一番上のクラスに入ることができ、学校の勉強がかなり楽になりました。その後も塾を中心に勉強していました。

よく言われることですが、鉄緑の長所はポイントを絞った問題と豊富な演習量です。逆に、そのせいで学校の勉強が出来ないという人もいますが、鉄緑を十分に生かすすれば学校の勉強をする必要はあまりないと思います。僕自身十分に塾の勉強をこなすことで、東大理Ⅲに入る力をつけさせて頂きました。つまるところ、僕の言いたいことは、信じて突き進めば必ず良い結果が出るということです。受験勉強中の皆さんにも、本気で鉄緑を信じて努力することで、第一志望合格をつかみ取って頂きたいと思います。

東大理Ⅲ H・Y(洛南卒)

短い間でしたが、お世話になりました

僕は高校2年の時から英語を習いに鉄緑会に通い始め、その後数学も受けることになりました。いずれの科目も、受験の準備段階としての時期に必要な

な基礎力を身に付けることができ、理科系の科目に時間を割かなければならない高3の時期にも比較的余裕を持って受験対策に臨むことができました。また中々成績が伸びず苦勞した時期もあったのですが、毎週行われるテストゼミや、かなりの量の演習問題を懲りずにこなした結果、最終的にはどちらの科目も十分な実力をつけ、またほかの科目にも不安を残すことなく入試に臨むことができ、無事に合格を手にすることができました。僕は比較の入塾が遅かったと思いますが、それでも十分に鉄緑の恩恵にあずかれたと思います。短い間でしたが、ありがとうございました。

東大理Ⅲ A・A(灘卒)

中1からお世話になった鉄緑は第2の母校

鉄緑会には本当にお世話になりました。鉄緑会の魅力は何といっても、演習量の豊富さ、雰囲気、周囲のレベルの高さだと思います。周りの友人のがんばりを見ることで僕自身、頑張りつづけることができましたし、良きライバルだったとも思います。演習も、これでもかというほどできましたし、それ故に確実に実力がつきました。最後になりましたが、お世話になった宮崎先生、吉永先生、鶴田先生、岡先生、熊谷先生、太田先生、その他講師の皆様、事務の方々、本当にありがとうございました。鉄緑会は僕の第二の母校です！！

京大医 T・K(灘卒)

宿題をしっかりとやれば実力はつく

僕が鉄緑に通い始めたのは高1からです、みんなが塾に行き始めたから有名だったので入塾しました。初めはあまりクラスが良くなく、特に英語は学校だけでは勉強不足を感じました。その点、鉄緑では多いけど宿題をしっかりとすれば、基礎力が確実につき、そうであれば、入試までには実力はちゃんと付くと思います。また、数学は早目に学ぶことで余裕が生まれるので、高3では理科に時間を割くことができ、合格の一因になったと思います。周りも賢い人が多かったのも、自分も頑張りなないと、とモチベーションを高く保つことができました。直前には、宮脇先生に英作文の添削をしていただき、また、励ましていただき本当に有難かったです。他に鶴田先生、宮崎先生、池尾先生、もう卒業なされた青木先生には感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

京大医 M・H(灘卒)

鉄緑会に感謝！！

① 僕が鉄緑会に通い始めたのは高1の時です。最初は英語と数学を受講し、以後半年おきに数ⅢC、物理、化学と受講科目を増やしていきました。が、途中から受講し始めた科目などでは、やはり最初から受講しておけばよかったと思っています。それくらい、鉄緑会のテキストは練られており、全科目全講座通して受けることで実力がつくと思います。もちろん、自分で努力することは必要ですが、特に、復習をくり返し行うことは非常に大切です。鉄緑の質の高いカリキュラムに何度も触れることで、自分の実力が上がっていくことを実感することができます。

② 僕は、高2の後半から高3の前半にかけて、数学で大スランプにおちついてしまい、テストゼミでも最下層に沈んでしまっていました。しかし、そんな時に、鶴田先生が授業後に、テストゼミの攻め方の確認だとか様々なアドバイスを下さったおかげで、何とか踏みとどまることができました。(僕は直前期に再度スランプにはまってしまいましたが…) このように、鉄緑の先生は皆温かく指導して下さい、辛い時には支えて下さいます。先生との関係を密にしておくことも、合格の手助けとなりますよ。

③ 最後にりましたが、今まで僕を支えて下さった先生方、事務のみなさん、そして家族・友達などに感謝の気持ちをこめて。本当にありがとうございました。

京大医 T・M(灘卒)

僕は井の中の蛙だった

中学時代、僕は中高一貫校のなれあいの環境の中で、うわべだけの勉強に終始していました。高校に進学するにあたって、そんな自分に不安を感じ、高1から鉄緑会で英語を受講することに決めました。鉄緑会を選んだのは圧倒的な合格実績、関東を含めた様々な学校の精鋭と切磋琢磨できる環境、そして鉄緑会の教材だけですべてカバーできるというカリキュラムに魅力を感じたからです。こうして鉄緑会に入塾しましたが、初回の授業から洗礼をうけることになりました。付け焼き刃の知識では対応できない質の高い問題、内容の濃い授業、そして何より周囲とのレベルの差に唖然としました。中学の頃の僕は典型的な「井の中の蛙」だったのです。しかし、鉄緑会で恥をかかないように、基礎だけは固めて僕にとって鉄緑会の授業はとてもわかりやすく、吸収しやすいものでした。すべての問題に、得るべきポイントがあり、また重要なポイントは形を変えながら何度も取り上げられます。鉄緑のカリキュラムをこなすうちに自分で驚くほど成績が上昇しました。高2からは理科、高3からは数学も鉄緑会で受講しましたが、すべて充実したカリキュラム、レベルの高い仲間がそろっており、とてもやりがいのあるものでした。

また、鉄緑の先生方は、毎日のように親身になって指導してくださり、受験当日もコンディションを崩した僕を最後までサポートしてくれました。このような温かい先生方、そして志を同じくする仲間達と一致団結して受験にのぞめたのは、ひとえに鉄緑会のおかげです。

最後になりましたが、お世話になった先生方、事務の方、共に励ましあった仲間達、そして父母に感謝したいです。ありがとうございました。

京大医 K・K(灘卒)

中1からの6年間でコンスタントな努力で、生徒会、クラブ活動と充実した学校生活

僕は中学1年の時から英語を、そして中学3年の後期から数学を鉄緑会でお世話になりました。僕が鉄緑会に通っていて良かったと思う点は次の3点です。まず、非常にたくさんの演習量を積めたことです。確かに、学校のクラブ活動などで忙しい中学3年や高校1・2年にあдекватの量の宿題をやらすのは酷かもしれません。しかし、それはまとめて一気にやろうとしているからで、毎日少しずつやっていたら決して終わらない量ではありません。実際僕は、中学ではクラブ活動、高校では生徒会活動と音楽活動をしてきたのですが、毎日少しずつやっていたら宿題をきちんと終えることができましたし、逆に、勉強面でそれだけの演習量をこなしているという安心感があったからこそ、その他の活動面で充実した学校生活を送れたと思っています。また、高いレベルで競い合える仲間たちが大勢そろっている点も鉄緑会の強みだと思います。実は、僕は他科目は他塾に通っていたのですが、これほど多くの高いレベルの仲間と競い合える塾は他に類を見ません。それも、「競い合う」といっても、たちの悪い蹴落とし合いではなく、お互いが励ましあひのびていくという、まさに切磋琢磨していくという競い合いです。僕が京大医学部に合格できたのは、この仲間たちのおかげと言っても過言ではありません。そして、3つ目が講師との近さです。確かに、鉄緑会の講師にプロの人は少なく、大学生がほとんどです。しかし、講師が大学生だからこその感じたものがありました。鉄緑会では、講師との年齢が近いこともあり、気軽にいろいろな話を聞くことができます。その中に、講師の通う大学についての話も出てきます。そんな中、一生懸命勉強して大学生になりたいと自分から思うようになりました。自分から勉強する姿勢をここで築けたことが大きかったと思います。

最後になりましたが、お世話になった岡先生、鶴田先生、宮崎先生、中川先生、青木先生、前中先生、池尾先生、その他多くの支えてくださった方々、どうもありがとうございました。

京大医 M・K(灘卒)

先生や友人に助けられた

僕は中3の夏に数学面で不安があった為入会し、そのまま高3まで鉄緑会のお世話になりました。勉強面で鉄緑の最も良かった所は、演習量の膨大さと、テキストの完成度の高さです。特に高2の時の数学の問題集は最高です。2次の直前まで解き直し続けた価値はあったと思います。精神面で最も助けられたのは、先生や友人の存在です。勉強が辛くなった時は、鉄緑に行って友達とご飯を食べに行ったりしました。また模試の結果に左右されやすい性質でしたが、宮崎先生や鶴田先生に励まされたり、喝を入れられたりしたお陰で頑張り続ける事ができました。

最後になりましたが、鉄緑会でご指導下さった先生方、本当にありがとうございました。

京大医 Y・S(灘卒)

受験を突破するために

鉄緑会のいいところは演習する問題量の多さとその問題の質の高さです。過去の入試問題などから先生方が厳選したい問題毎週解説つきで演習していくわけだから、これで実力がつかないわけがありません。また、毎週テストをして自分とレベルの近い同じクラスの人達と競い合うので実力がどんどんのびていって、かつテスト慣れもできて学力だけでなくテスト力も身につく、来る入試に対し万全に備えることができました。そして大学に入ってから知ってる顔が多いので、すごく気楽な大学生活を過ごすことができます。ありがとうございました。

京大医 I・M(灘卒)

鉄緑会での6年間

私は中1から高3までの6年間鉄緑会でお世話になり、全科目とも受講していました。鉄緑は各科目とも扱う問題数が多くて大変でしたが、それらを真面目にこなして、復習することによって確実に力をつけることが出来たと思います。高3では思うように成績をだせなくて焦って悩んだこともあったけれど、そのたびに先生方に面談をしていただきなんとか乗り越えることが出来ました。私が合格出来たのは色々相談に乗ってくださった鉄緑の先生方のおかげです。

辛い時期もあったけれど、今となっては良い経験でした。岡先生、宮崎先生、武田先生、新井先生をはじめお世話になった鉄緑の全ての方々から感謝しています。本当にありがとうございました。

京大医 K・S(神女卒)

6年間ついていけばなんとかなる塾・鉄緑会

約6年間、全科目、鉄緑にお世話になりました。とにかく目の前の宿題を片付けることを考えていたらいつのまにか一週間の勉強のリズムができていて、校内模試を乗り越えようと必死になると自然に総復習することになる、鉄緑はそういう、とにかくついていけばなんとかなる塾だと私は思います。鉄緑のテキスト、問題集、先生がつくってくださる補助プリ、テストさえこなせば大丈夫です。少なくとも私はそうでした。

一緒にご飯を食べたり、しゃべったりした友達、もう十分賢いのに勉強し続ける同じクラスの人達がいたから頑張ってきた。一人だったら、きっとさっさと諦めていたと思います。不真面目な私を見捨てないで下さった先生方、特に高3でお世話になった宮崎先生、岡先生、武田先生、新井先生には本当に感謝しています。ありがとうございました。

京大医 T・R(神女卒)

最初から最後まで鉄緑会

私は6年間、英数物化、最初から最後まで鉄緑会に通いました。途中で何度もやめたくなりましたが、なんだかんだで最後まで在籍しました。というのも、私には兄や姉がいないので、どこの塾が良いかわからず、とりあえず実績の良かった鉄緑会に行く他なかったのです。

中1の時は、書道、水泳をやりながら通っていました。学校の部活は好きでなかったのも、あまり出ていませんでした。まずは毎週宿題を全て済ませて、校内模試前にと復習をする、といった感じでした。復習をきっちりやればついていけると思っています。そんな生活を中3まで続けていました。数学はSAの真ん中、英語は下の中くらのラインでした。

高1の時に数学が飛躍的に伸びました。というのも、高2 SA担当予定の先生が大好きで、何が何でも上位でSAに行きたかったのです。その結果、何とか京医を狙えるラインに行きました。

高2の時は、正直かたよりのある勉強をしていました。というか、正直、数学、物化以外をやった記憶がありません。「これはまずい！！」と思い、高2の後期から英語をやりました。

高3は毎回のテストの点数が落ちつかずに結構気分が上下が激しかった気がします。周りにも迷惑をかけました。ごめんなさい。とりあえずテストゼミの復習をやりまくるとなぜか落ちつききました。

最後に、あんなにひどい気分屋だった私を見捨てず、時にはきびしい言葉ではげましてくれた家族、池尾先生、鶴田先生、中川先生、青木先生、武田先生、新井先生、岡先生、中野先生、熊谷先生、玉置先生、事務のみなさん、本当にありがとうございました。京大医 Y・Y(神女卒)

頑張れる塾、鉄緑会

私は高1の後期に入塾しました。入った頃は周りのレベルが高く、宿題も膨大で、イライラしながら勉強しました。早く入れればよかったとも思いましたが、鉄緑でなければ志望校に入れると信じ、必死で上位の人たちについていきました。

私は高3の秋まで部活をしていたので、学校、塾の勉強、部活全てを頑張るのは大変でしたが、部活が大好きで、高3のときも気分転換や勉強を頑張るエネルギーとなり、充実した毎日が送れました。鉄緑が忙しくても部活がマイナスとなることはありません！ 全部やってやろう！ という気持ちが大切で、そして真面目に頑張れば、努力は裏切りません。何事も手を抜かないことは難しいですが、鉄緑で頑張れば必ず自信がもてます。

また、受験は一人では乗り切れません。いつも応援して下さった先生方、事務の方々、頑張らない！と思わせてくれた友達、支えてくれた家族、皆様に感謝しています。ありがとうございました。京大医 U・Y(四天卒)

鉄緑会での6年間(クラスの友達が全国トップレベルの人達ばかり)

私は中1から6年間お世話になりました。中学生の間は主に校内模試に向けて勉強することで早い時期から勉強のリズムがつかめて比較的成績も安定していました。しかし高校生になると授業のスピードやレベルの高さについていくのが難しくなってきた、特に数学はSAとA帯を行ったり来たりしていました。全教科受講していた私は高2では授業が週に5回あり、復習と宿題で精いっぱいでした。カリキュラム的にはこの1年がいちばん大変で、ただがむしゃらに勉強していましたが、今思えば復習と宿題だけでも着実に力がついていました。

しかしメンタル面でいちばん辛いのはやはり高3でした。クラスの友達が全国トップレベルの人達ばかりだったので自分一人がとり残されているように感じて焦ったり、模試の成績も上がらず志望校を変えるべきか悩んだりしました。そんなときはいつも先生方に相談にのっていただきました。京大医学部の先生が多く、ご自身の経験をもとにアドバイスしていただいても心強かったです。また将来先生方が自分の先輩になるかもしれない、と思うとモチベーションが上がりました。レギュラー授業終了後から二次試験直前まではできる限り自習室に通い、友達の真剣な姿が刺激となり、頑張ることができました。

私は鉄緑会での6年間で、互いに励まし合える素晴らしい友達や尊敬できる先生方にめぐり会い、最後まで諦めない精神力を得ることができました。

最後になりましたが、チューターの岡先生、親身になってくださった武田先生、何度同じことを質問しても丁寧に教えてくださった新井先生、いつも気にかけてくださった小泉先生をはじめ、鉄緑会の先生方、事務の方々、支え合った友達、そしていちばんの理解者である両親に心から感謝しています。本当にありがとうございました。京大医 K・K(四天卒)

真面目に努力すれば途中入塾でも結果がついてくる塾

私は中3からの4年間、鉄緑会にお世話になりました。成績が全然安定せず、特に高3になるまでは大きなテストの度に失敗していました。それでもここまで頑張ったのは失敗する度にやる気を与えてくださった鉄緑会の先生方、友達のお陰です。消極的で自分から先生に相談に行くこともほとんどなかった私にも先生方は何かと声をかけてくださり、励まして頂きました。

真面目に頑張れば、時期は人それぞれだと思いますが、いつかその努力の結果がついてくるはずですよ。たとえなかなか思うように成績が伸びなくても必死な態度で先生方は理解してくださると思います。

最後になりましたが、お世話になった先生方、事務の方々、本当にありがとうございました。京大医 Y・A(四天卒)

鉄緑会での6年間に感謝

私は中1から6年間鉄緑会にお世話になりました。最初は、ただ授業に出てテストを受けて…というだけでした。しかし、学校の友達が校内模試で良い成績を取っていくうちに自分の中で焦りが生じて、真面目に勉強するようになりました。

鉄緑会の数学は、学校とレベルが全く異なっており、宿題の量が多いのでこなすのもかなりきついです。そのおかげで自然と数学の成績も上がり、得意科目になりました。その一方で逆に英語に手が回らず、また高2になって理科も加わったので成績はどんどん落ちていきました。高3の模試でも相変わらず悪いままでしたが、宮脇先生に相談に乗ってもらい、添削を受けるうちに、苦手意識も薄れていったと思います。面談で先生方から励ましの声を受けることでペースを維持して勉強することができました。

私が京医に合格できたのも鉄緑会のおかげです。中1から高3の6年間お世話になった先生方には本当に感謝しています。ありがとうございました。京大医 N・R(四天卒)

鉄緑会での3年間

僕は鉄緑には高校3年間お世話になりました。鉄緑会の3つの特徴を挙げたいと思います。

まず1つ目は、膨大な演習量で、復習テストゼミを含む3時間10分の密度の濃い授業と多大な宿題です。学校の授業より断然優先させる価値がありました。毎回ある復習テストゼミが実力アップに役に立ち、テストで間違えた所が頭に残りやすいので、復習するだけでかなりの内容が身につきます。同時にテスト慣れるので、模試などで時間配分が自然にでき、落ち着いて受けることができるようになります。また勉強のリズムもつきます。

2つ目は、鉄緑生のレベルの高さです。有名進学学校のトップクラスが集結し、とてもいい刺激になりました。上には上がいることを実感し、いつも謙虚な気持ちで勉強でき、さらには上を目指し、努力するのが当然な環境でした。

3つ目は、講師の質の高さです。現役の優秀な大学生で、僕たちと年齢が近く、フレンドリーな雰囲気、授業が進みます。個人的にもフォローしてくれ、精神的にも支えとなりました。

最後になりましたが、僕の勉強を支えてくれた鉄緑会、および先生方にはとても感謝しています。ありがとうございました。京大医 K・H(甲陽卒)

鉄緑会での3年間

僕は高1の4月から鉄緑会に通い始めました。入会した頃、僕が最も驚いた事は、京医の先生方が周りにうようよいた事です。僕は当初から京医志望でしたが、あまり実感が湧かず、京医に受かるような人は雲の上の存在だと思っていました。しかし、鉄緑に入ってみて、そんな人達が身近な存在になりました。しかも、どの先生も人間味があって、心から尊敬できました。また、周りの人達のレベルも高く、毎週行われる復習テストを通して、互いに切磋琢磨することができました。

僕は、このような恵まれた環境の中で、鉄緑のテキストの復習をくり返すだけで着実に実力をつけることができ、高2の4月には数学と数ⅢCはSAクラス、英語はA1クラスまで上がり、夏に受けた京大模試でも、数学に関しては偏差値が90近い点数をとりました。

しかし、万全を期して臨んだ校内模試で数学のクラスがA2まで落ちてしまいました。この時はさすがにショックで、当分勉強する気になれませんでした。気持ちを紛らす為、物理ばかりやっていた気がします。

最後の校内模試で、クラスが無事戻ったときは、ほっとしました。同時に、一度挫折を乗り越え越えた事で、精神的に強くなり、自信が生まれました。

高3になると、油断から勉強に手を抜きがちになってしまいましたが、強い自信は最後まで越えませんでした。そしてこの春、無事合格できました。この3年間、僕は鉄緑会から勉強だけでなく様々な事を学びました。ありがとうございました。京大医 N・H(東大寺卒)

学校の成績上位者が多数通塾する鉄緑会

僕が鉄緑に通うようになったのは高1の春、きっかけは学校の定期テストで上位の人が通っている塾といえば、「鉄緑」というのが圧倒的多数だったからです。

鉄緑では、とにかく授業のレベルが高く、一回一回の授業内容がとても濃いため、ついていくのが大変でした。それでも必死に予習、復習、宿題、テストをこなしてゆくと、自然と力がついてゆき、入塾当初苦手だった数学(B3)は、最終的に一番の得意科目になっていました。英語、物理、化学も、この僕が3年間でつけられる最大の實力を得ることができました。これは鉄緑に通っていなければありえなかったと思います。

加えて鉄緑にいて感じたことは、ものすごく雰囲気がいいということです。不安な時に話相手になってくれた友達の存在ははとてありがたかったです。そしてなにより、どの先生も熱心で面見がよく、成績がなかなかのびない時も我慢強くサポートして頂きました。またそのような先生方への憧れが、僕の勉強のモチベーションを保ってくれ、僕が第一志望を入塾当初の京大工学部から京大医学部へと変えるきっかけの1つになりました。このような環境に身を置くことができた僕は幸せ者だと思います。

最後になりますが、僕を支えてくださった鉄緑会の皆様、本当にありがとうございました。それから後輩の皆様へ、鉄緑はテキスト、カリキュラム、授業、講師のどれをとっても最高の塾です。これからのいろんな壁に当たつてきたと思いますが(僕はより多くの壁に当たってきたように思います。その都度、鉄緑の先生に救われてきました。)どんなにつらくても、鉄緑を信じて頑張ってください。京大医 K・T(洛南卒)

鉄緑会に感謝（ハイレベルな友達に囲まれた鉄緑会での6年間）

僕は中1から鉄緑会に御世話になりました。勤勉な子とは御世辞にも言い難いような子をつき放すことなく、又、ただ単に怒る訳でもなく、中川先生を始め、本当に多くの先生方に御世話になりました。嫌いな英語が好きな科目、得意科目に変わっていったのも、ハイレベルな鉄緑会の友達に囲まれ、負けたくない、という気持ちになれたからだだと思います。又、忙しい中、わざわざ面談という形で、色々な相談ののっていただいたことは、前向きに勉強し続けられたことの直接的要因だったと思います。高3の1年間をサポートして頂いた宮崎先生には本当に感謝しています。ほんのわずかの間しか御世話になっていなくても、何かと相談ののって頂いた多くの先生方の優しさは、受験期、大変ありがたかったです。反復勉強、という最も当たり前でかつ実践するのが難しい勉強の仕方を徹底して指導出来るのは、さすが鉄緑会と言ったところでしょうか。今まで御世話になった中川先生、岡先生、岡田先生、濱路先生、大倉先生、渋谷先生、角田先生、井口先生、島先生、池尾先生、熊谷先生、そして宮崎先生、本当にありがとうございました。

京大医 S・S(洛南卒)

苦しいが居心地のよい鉄緑会での6年間

僕は中1から6年間鉄緑会にお世話になりました。中学の時から学校の友達も多く通っていたために僕にとって鉄緑は勉強の面では苦しいものですが、すごく居心地のよい所でした。先生も幸い親しみやすい方ばかりだったので楽しく学べた事を覚えています。中学はクラブをやっていたためになかなか勉強する時間は取れませんでした。毎週授業を受け宿題をこなすだけで高校になってから巻き返すだけの力はないと思うので今から思えば中学時から通って良かったなと思います。

高校に入って僕は京大が阪大の医学部に通いたいと思い、本気で勉強を始めました。その頃から鉄緑の自習室を利用したと思います。自習室では自習室仲間などもできたので、すごく行きやすかったし、すぐ近くで高3の先輩が必死に勉強しておられるのを間近で見ているので勉強にも熱が入りました。夏には鉄緑の数学の高1のテキストを何度も解き直すと、一番上のクラスに上がる事ができました。鉄緑の高1のテキストは基礎を固めるには存在する参考書よりも良いので、しっかり復習すれば確実に力を伸ばすことができます。あともう一つオススメしたいのが化学のオープンクラスです。高1の時に広く浅く化学を入れる事で軽い負担で高2、高3での化学の吸収力が格段に上がると思います。英語もこの時期に宮脇先生のとっつき易い授業のおかげで本気で勉強し始める事ができました。本当に感謝しています。

高2になって数学がスランプにおちいった時期があり、その時期に担当だった宮崎先生に何度も面談してもらい、やる事などや、テストの受け方を一緒に決めてもらったおかげで無事数学のスランプを抜け出す事ができました。ありがとうございます。一方英語は島先生と中野先生の分かりやすい指導と生徒に親身な対応のおかげで着実に英語力を伸ばす事ができました。化学も玉置先生の要点を的確についた恐ろしい程分かりやすい授業のおかげで得意分野にできたと、物理も新井先生の分かりやすい講義によって力をつける事ができました。この頃には友達もいっぱい増え、先生達と気軽に話せるようになり鉄緑をすごくアットホームな所のように感じていました。

高3になって春に物理と化学を本気で復習したので理科に関してすごく優位に受験を経験することができました。苦手分野の英語に関してはチューターの池尾先生や木戸先生にこまめに添削していただき、自分も高2の復習を絶えずしていた事により高3の初めに京大の問題で50点ぐらしかとれなかったのが入試直前期には100近く取れるほどまでになりました。数学も毎週鶴田先生が時間をかけて選んできてくださった問題をテスト形式で解くことで当初は不安定であった数学が最後には安定したものとなりました。化学も武田先生のものすごく生徒思いな授業と精錬された問題を解くことで化学に対する不安は入試の時に全くなかったです。物理も新井先生の丁寧な指導により絶対の自信がつかえました。このように鉄緑の先生方は他のどの塾、予備校より生徒に受かってほしいという気持ちが強く、熱いので僕達生徒も鉄緑の先生達には絶対の信頼を置くことができました。与えられる問題の質が異常に高いのもそうですが、それ以上にこの信頼関係こそが鉄緑の最も良い点であり、通う価値のあるものであると僕は思います。

最後になりましたが、数学科の鶴田先生、宮崎先生、中川先生、英語科の池尾先生、岡先生、木戸先生、宮脇先生、中野先生、島先生、化学科の武田先生、玉置先生、物理科の新井先生、そして両親、色々御迷惑をかけた事務の方々、本当に感謝しています。ありがとうございました。

京大医 F・H(洛南卒)

C帯クラスでもあきらめないで頑張った6年間

僕は中高6年間を通して鉄緑会にお世話になりました。しかし、6年間通してガチガチに勉強していたわけではなく、中学の間はサボってばかりでした。中学の時は豪華の吹奏楽部に入り、練習は月、水、木、土の4日間でした。当然、鉄緑にかよえる日は火、金の2日のみ。クラブにはまりこんでいたことと合いまって、英語のクラスは中2の間はC、中3の間はC3に所属していました。しかし、この期間、鉄緑にかよっていたことは無駄だとは思ったことがありません。2時間半ほど遅れて行ったことは何度もありましたが、そんな僕をC帯の先生たちは見捨てずにいてくれました。A帯に入れなすぎや鉄緑に行く意味はないと言われますが、この期間、根気よく続けていたことが今の京大医学部に繋がっているのだと思います。

そうはいったものの、英語は私の苦手で高3になってからもうB2-2というクラスにしか入れませんでした。常識で考えれば、こんな実力では京医なんて受からないと思われるでしょう。しかし、宮崎先生をはじめ、だれもが無理だとは一言も言わず、僕のことを後押ししてくれました。会うたびに「英語の調子はどうか？」と声をかけてくれ、大キライだった英語をがんばってみる気になりました。

そんな時、A2、B2-2など3クラスを持っていた宮脇先生がA2に入れてくれるという話を持ちかけてくれました。もちろんA2に入るほどの実力なんてまったくなかったのですが、A2でできたという意味で、クラスを上げていただきました。クラスがかわってからも、英語ができないままの僕を根気よく指導していただいたり、相談に乗ったりしていただいた宮脇先生には本当にメイワクをかけたと思います。京医に合格できたのも宮脇先生のおかげだと言っても過言じゃないと思います。本当にありがとうございます。

最後に、宮崎先生や宮脇先生、武田先生や新井先生をはじめ、6年間お世話になった先生方には本当に感謝してます。本当にありがとうございました。

京大医 Y・I(洛南卒)

第二の母校 鉄緑会での6年間

私は中1から高3までの6年間、鉄緑会にお世話になりました。中1から高1までは英・数のみを受講していて、この4年間で英・数を集中的に勉強しました。このおかげで基礎はしっかりして、高2、高3でかなり楽になりました。

また高2からは物理、化学も受講しました。理科は高2、高3の2年間で完成できるとよく言われますが、まさにそうだと思います。ただ私の場合、高1の校内模試の数学で1位をとって調子にのってしまい、高2で数学をあまりやらなくなり、高3で非常に苦労しました。高2、高3の間は理科に力を入れるべきですが、決して英・数をおろそかにしてはいけなと思います。

高3の間は各科目の先生方や、チューターの武田先生に、どのように勉強を進めていけばいいか、ということについて色々アドバイスをいただき、大変参考になりました。また、精神面でも支えていただき、とても感謝しています。

最後になりましたが、今までお世話になった講師の皆さん、事務の方々、本当にありがとうございました。

京大医 T・T(星光卒)

最高レベルの塾

僕が鉄緑会に入塾したのは高1の9月でした。高1、高2のときは英語と数学、高3のときは英語のみを受講していました。入塾したきっかけは、高1という受験モードに切りかわる直前の時期になって自分の学力に不安をもち、「いっそのこと最高レベルのところでがんばってみようかな」と考えたからでした。

入塾したときは授業のレベル、質、スピード全てに圧倒されましたが、なんとか食らいついていこうと考えてがんばり、高2のときは英数共になんとかSAクラスに入れました。SAクラスのレベルはこれまで経験したことがないほど高く、苦手な数学の授業では他の人と自分の実力差に驚き、悲しくなるほどでした(笑)でも先生の話はわかりやすく、かつテキストが非常によかったため、復習と宿題をこなしていくことで、少しずつですが数学がわかるようになりました。また、英語は比較的得意なはずでしたが、やはり自分より格段にできる人がいっぱいいたし、授業のレベルも最高レベルだったため、ついていくのに必死でした。

僕の場合は自宅が遠方にあり、通塾するだけでかなり疲れるため、塾についたときにはフラフラでしたが、それでもなんとか気力ががんばりました。今思うと、こんな生活をしてたおかげで根性がついた気がします。

理科については、レギュラー授業をとるのはしんどすぎたのでとれませんでした。長期休暇中の講習会にはがんばって参加しました。このときも周りの人があまりにも賢かったのも、「もう少し家が近けりゃなあ」とか「京都校つくってほしいなあ」とか思ったこともありました。(笑) えらそうなことはいえませんが、やっぱり環境というのは大事で、高いレベルの環境に身を置かせてもらうことは自分への刺激になり、本当によかったです。これだけ賢い人達が一堂にそろう、机を並べて勉強できるような場所は鉄緑会をおいて他にないと思います。高い志を持った人達と共に勉強することは必ずや合格への近道となるでしょう。

最後になりましたが、岡先生をはじめお世話になった先生方、事務員の方々、全員に感謝しています。ありがとうございました。

京大医 A・H(洛星卒)

中3で一番下のクラスから心機一転、真剣に努力

中3の頃になんとか入り、初めのクラスは数学・英語ともにほぼ一番下のクラスでした。あまり宿題もやらず、とりあえず授業を受けているという感じでした。しかし、高1の初めに心機一転し、このままではダメだと思い、真剣に勉強しようと決心しました。その時、勉強の一番の手助けとなったのが鉄緑会です。数学はとにかく鉄緑での授業内容、そして問題集を完璧にできるようにすると、高1の1回目の校内模試でSAに上がることが出来ました。その後も鉄緑で出される課題をきちんとこなしていただけていたのですが、なんとかSAに残ることができました。一方、英語が伸び悩み、高3でA3-1-1だったのですが、熊谷先生や他の先生方にどうしたらいいのか、面談を通じてアドバイスしてもらった結果、徐々に英語が出来るようになり、自信もつくほどになりました。

僕が合格することができたのは、鉄緑会の先生方の熱心な指導のおかげです。本当にありがとうございました。

京大医 I・T(清風卒)

良い刺激を受けた鉄緑会

私が鉄緑に入ったのは高2の春だったので、かなり遅い方であった。それまでは小規模な英語の個人塾に通っていたのだが、生徒が10人程度しかおら

ず、それほど切磋琢磨できる環境ではなかった。そこで、優秀な人達からいい刺激を受けることができればと思って、鉄緑に入った。最初のクラスはA4だったのだが、英語はそれほど得意ではなかったので、正直なんとかAクラスに入れたという感じであった。鉄緑に入ってから、鉄緑の制度に慣れず、鉄緑内での専門用語が理解できず結構大変だった。それでも松葉先生に基本的な知識から教えていただいたり、比較的多い宿題をなんとかこなしていたので、徐々に英語力がついていった。高3の京大オープン・実戦模試では得意ではない英語が150点満点中80点台を安定してとれるようになったので、全てA判定だった。最後に、私は文系だったのだが、鉄緑には医学部志望の優秀な理系の方々が多くいらっやして、文理の違いを越えて、良い刺激を受けることができたので、文系の人も鉄緑に来る価値が十分にあると思う。

京大法 T・T(東大寺卒)

講師との出会いで得意科目に

僕が、鉄緑会に通って一番よかったと思うことは、宮脇先生に英語を教われたことです。高2から高3に上がる時、鉄緑会は家から遠いので、やめようと思っていました。でも、新しいクラスのA2の担当が、それまでB1でお世話になっていた宮脇先生だと聞き、それなら続けよう！と思いました。宮脇先生の授業は（単純で）わかりやすく、またおもしろかったからです。高3になって宮脇先生のおっしゃることはすべてこなすようにしていました。すると、夏の京大実戦で急に英語がすらすらと読め、わかるようになったのです。それ以来、英語のテストが悪いということはほとんどなくなり、英語が安定した得意科目になりました。

英語は、ある程度量をこなし、和訳十英作を実際に自分で書き、かつある程度単語を覚える必要があると思います。それらを粘り強く続けることと英語は急にわかるようになります。そして、鉄緑会はそのための教材を量、質とも十分に提供してくれます。それをやっていたら、自分で他にやらなくても十分だと思えます。

宮脇先生でなければ、僕は鉄緑会を続けておらず、英語が得意になることもなかったかもしれません。宮脇先生には英語だけでなく、精神面やいろいろな面でサポートしていただき本当に感謝しています。ありがとうございます。

京大法 N・T(東大寺卒)

鉄緑会での6年間

私は中1から高3までの6年間鉄緑会でお世話になりました。今思えば、ずっと与えられた宿題をただこなすだけでしたが鉄緑のテキストの質は非常に高いです。宿題をこなすことで、自然と受験への基礎、応用が身につけていたと思います。

また、私は受験期には精神的に不安定な状態が続いていましたが、その度に話をきいてはばましてくださる先生方や、自習室で一緒に勉強していた友達がいる、そのおかげで無事大学に合格することができました。鉄緑の先生や友達がいないければ無事受験を乗り切ることができなかったと思います。

お世話になった先生方には本当に感謝しています。6年間楽しく鉄緑に通うことができてよかったです。本当にありがとうございます。

京大法 K・Y(帝塚山卒)

毎週の宿題と年2回の校内模試

私は中2から高3までの5年間、鉄緑会でお世話になりました。初め、入った時宿題の多さやレベルの高さに戸惑いましたが、毎週宿題である問題集をこなしていくうちに、いつの間にか成績が上がっていました。これも授業やテキストの質の良さのおかげだと思います。また年2回行われる校内模試のおかげで、実践力がつきました。

最後に鉄緑でご指導下さった先生方、事務の方、本当にありがとうございました。

京大総合人間 N・A(神女卒)

鉄緑会に感謝

僕が鉄緑会に通い始めたのは高校2年生のときでした。それまで自分の勉強というものをしたことのなかった僕の成績は、それはひどいものでした。しかし、鉄緑会に通って宿題をきちんとこなしていくことで、当然すぐにはなかったけれど、次第に成績が伸びていきました。こんなことならもっと早くから通っておけばよかった、と思ったほどでした。とは言え、こうして勉強をすることによって、無事第一志望の大学に合格することができました。

お世話になった先生方、事務の皆さま、ほんとうにありがとうございました。

京大工 T・K(灘卒)

テキストと講師の質の高さ

僕が鉄緑会に入会したのは高1の頃でした。はじめは授業に全くついていけず悩んでいましたが、テキストを復習し宿題をこなしているうちにだんだんと授業についていけるようになっていきました。ただ必死に授業についていけるように頑張っているだけで成績が伸びていったのは鉄緑会のテキストと講師の質の高さのおかげだと思えました。また、高3で担当していただいた先生方には色々相談のしてもらい、とても勇気づけられました。僕が合格できたのは3年間やめずに鉄緑会に通い続けたからだと確信しています。

最後になりましたが、お世話になった先生方や事務の方々、本当にありがとうございました。

京大工 K・K(甲陽卒)

鉄緑会での中1からの6年間

私は中1から数学、中3から英語に通いはじめました。中学の頃は授業を聞いて宿題をこなし、年2回の校内模試のときだけ頑張るという感じでした。鉄緑会は中学のうちから高校の内容を教えるため、早くから基礎を固めることができたので本当に良かったです。英語は豊富な問題量のおかげで、授業の予習・復習をやっているだけで次第に力がつき、最終的には苦手な数学をカバーできるぐらいに英語ができるようになりました。模試で思うように結果が出せず、つらいこともありましたが、入試本番、鉄緑会でたくさん演習を積み、難しい問題にも挑戦してきたということが自信につながりました。池尾先生、木下先生、その他お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

京大農 K・M(神女卒)

文系でも鉄緑会で良かった

私が鉄緑会に入ったのは高2の後期からでした。入塾した理由は、友人が鉄緑会に通っていたというだけの安易なものでした。入ってみるまで、この塾が医学部専門の塾であるという事すら知りませんでした。入ってみると、周囲は理系の人がばかりで正直なところ「文系の僕がこの塾に入ったのは間違っていたかな？」と思ったこともありましたが、しかし、文系は理系以上に英語の比率が高いので、英語だけでも通い続けようと思い、通い続けていました。高3になって、受験が近づいてゆくにつれて、自習室に残って勉強する事が多くなったため量がかなり多くなった宿題も軽くこなせるようになっていき、勉強のリズムが作れるようになっていきました。夏、秋の模試の成績はあまり良くありませんでしたが、いまだ勉強してなかったので仕方ないことである、と気持ちを切り換えてじみちに毎日勉強していました。授業以外でも、先生は毎週自分もってきた過去問の英作文を添削してくださり、センター後の授業の終了した後でも、毎週添削をしに塾まで来て下さり、今でもとても感謝しています。授業も役に立ちましたが、それ以上に先生の懇切な指導のおかげで精神的に不安定になっていた時期ものりきることが出来ました。本当に鉄緑会には感謝しています。1年半という短い期間でしたが、ありがとうございました。

京大文 W・F(東大寺卒)

6年間の毎週の復習テストで勉強する習慣が自然と身についた

私は中学1年のときから6年間、鉄緑会にお世話になりました。中学1年のときから毎週復習テストがあったので、勉強する習慣を自然と身につけることができました。周りのレベルの高さについていくのに精いっぱい、つらいときも多々ありましたが、その過程で力を身につけられたのだと思います。

本当に鉄緑会に入ってよかったと思います。今まで教えてくださった先生方、ありがとうございました。

阪大医 N・M(神女卒)

毎週の復習テストは定着に効果的

私は中学1年の時から6年間鉄緑会でお世話になりました。中学の頃はついていけないと思ったことも度々ありましたが、今思うと本当に続けていて良かったと思います。鉄緑は毎週復習テストがあったので、前回習ったことが定着しやすく、テスト前しか勉強しないサボり癖のある私にとっては、とても助かりました。また、まわりの友達のレベルが高いこと、先生との距離が近く、相談しやすいこと、演習量がとても豊富なことも鉄緑の良さだと思います。とりわけ模試が返ってくる度に面談してくれたり、センター前や2次試験前にメールや電話で励まして下さった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。DやE判定を連発したり、センターで失敗した私がそれでも第一志望校に合格することができたのは鉄緑での6年間ののおかげです。本当にありがとうございました。

阪大医 M・M(四天卒)

中学の間に英語を得意科目に

僕は中2から英語、高1から数学、高2から化学と数ⅢC、高3から物理を鉄緑で受講しました。僕が受験に成功することができた最大の理由は、早い時期から鉄緑で英語を受講したことだと思います。鉄緑会の中学における英語は、中学生にやらせるのは酷だと思うぐらいハードな内容ですが、本当にしんどいのは最初の2ヶ月でその後は普通についていけるようになりますし、気づかないうちに英語が得意教科になります。

僕は中学の間に英語を得意教科にしたので、高校に入って受験勉強をスムーズに進めることができました。理数に関してはかなりハイレベルな内容を早くから扱いますが、これに慣れていければ模試で本当に良い成績をおさめることができますし、僕も実際模試の成績は非常に良かったです。

最後になりましたが、お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

阪大医 W・O(洛南卒)

クラブと両立

僕は中学の途中で入会しました。阪大医学部に現役で合格できましたが、最後までクラブ活動に重点を置いていたため高2の途中までは、通っているというだけでした。決してほめられた生徒ではなかったのですが、鉄緑会の授業、宿題をなんとかこなしていると、学校の授業が余裕に感じられました。高2の後半から「さすがにこれではまずい」と思い、先生方のアドバイス通り、真剣に取り組むようにすると、模試で好成绩をだすことができました。圧倒的な演習量と各教科の先生方の教え方の素晴らしさ、ほんの数年前に経験された受験のアドバイス、落ちこんだ時の相談、励まし等本当に僕は先生方に助けられました。又、各高校からの優秀な生徒たちと競争できるのもいい刺激です。

最後になりましたが、チューターの福田先生、高3担当して頂いた宮脇先生、武田先生、新井先生、その他大勢の先生方にフォローしていただき、本当にありがとうございました。

阪大医 Y・S(星光卒)

「鉄緑会さまさま」

僕は中1の後期から数学を鉄緑会で学び始めました。前期は鉄緑会の授業を受けておらず、学校の授業のみだったので、後期には鉄緑会と学校のレベルの差を感じました。初めて入ったのがSAクラスというせいもあるかもしれませんが、とにかく内容が高度で、周りの生徒も賢く、初めはついていのがやっとでした。しかし、次第に慣れ、学校での成績もかなり上がりました。その後、英語、化学、物理も鉄緑会で受けるようになり、英語以外は順調に伸びました。英語は昔から苦手だったので、鉄緑会の先生によく相談したりして頑張ったのですが、結局伸び悩んで他塾に入塾しました。しかし、そこで本番までの約1年間学びましたにもかかわらず、あまり伸びず、正直かなりあせりました。そして、センター試験後の約1ヶ月間、最後の手段として、鉄緑会で過去にもらった英語の教材やプリントの復習を本気でしました。僕は普段からあまり復習はせず、予習重視だったので、この時期は非常にきつかったです。その復習の結果、英語が大分マシになったと思います。本番でも、得意な数学や理科よりも英語の方が出来は良いと思います。振り返ってみて思うのは、やはり鉄緑会の教材やプリントは質が高いので、初めからきっちりするべきだったということです。苦手だからといって英語の勉強を怠っていた昔の自分が情けないです。これから大学受験を経験する皆さんは、絶対に最後まであきらめずに頑張ってください。ムダな努力などありません！

最後になりましたが、数学科の中川先生、福田先生、英語科の藤田先生、宮脇先生、物理の松本先生、化学科の岡田先生、武田先生、本当にありがとうございました。 阪大医 K・K(星光卒)

継続は力なり（6年間の鉄緑生活）

僕は中学1年から鉄緑会に通い始めました。中学のときは宿題も少なく授業に来るだけでしっかりついていくことができました。この中学の時期に少しですが継続して勉強する習慣が身につく、高校生になって勉強していく準備ができたと思います。高1になり、宿題も多くなり、中学生のときの勉強量ではついていけなくなり、高1の後期ではB1、A4とクラスもかなり落ちてしまいました。しかし、せめて宿題はきっちりやろうと思って必死に取り組みました。すると、成績は徐々に伸びていき、クラスでも上位に入り、高3では総合的にみてA2くらいにまで上がることができました。やはり与えられる教材をきっちりこなせばいいのというのを痛感しました。そうして受験を迎えた僕ですが、実際はセンター試験で失敗してしまい、他の受験生よりも大きく出遅れた形になってしまいました。ですが鉄緑会での6年間で培った二次試験の力はそれを巻き返すほどのもので、センター後の直前期は不安でいっぱいでしたが先生方は合格する力があると信じて下さり、最後まで気を緩めず取り込むことができました。

僕が合格できたのは先生方が厳選して下さった良問と先生方の熱意のこもった授業、そして精神面での支えのおかげだと思います。6年間親身になって指導して下さい、本当にありがとうございました。 阪大医 I・H(高槻卒)

鉄緑会でなかったら…

僕は高1の冬から鉄緑会に通っていたのですが、部活との両立で大変でした。高2の間はクラブに専念したいため勉強が少しおろそかになるということと先生方に相談すると反対はせず応援してくれました。そのおかげでクラブを高2の終わりまで心良く続けることができ、悔いなく引退をすることが出来ました。やはり高3の始めは周りの人たちより出遅れていましたが、鉄緑会の自習室では本当に勉強に集中することができ、また高2で支えてくれた先生方や高3で担当の先生方の期待に応えようという気持ちがあったため、成績がとてもし上がりました。もちろん合格できるようになったのは、鉄緑会のテキストや先生方の生徒への接し方がとても良かったからです。

鉄緑会でなければ僕が合格することはありえなかったと自信を持って言えます。お世話になりました鉄緑会の先生方、事務の方、本当にありがとうございました。 阪大医 T・T(高槻卒)

最下位クラスでも頑張り通して合格

私は中学2年生のときから鉄緑会に通っていましたが、当時の成績は散々たるもので、ずっと最下位クラスでした。それでも、鉄緑会で教えてもらえる勉強内容がずっと好きで通ってました。当時は宿題をするのが嫌いで、よく中途半端な状態で出席していましたが、たくさんある課題をきちんとやっていけば後々苦労したりすることもなかったと思うので今は反省しています。

私が無事に志望校に合格できたのは先生方と鉄緑会という環境のおかげだと思います。先生方は私たちのために創意工夫を凝らし、素晴らしい授業、課題を出してくれました。私は面倒くさがりだったので、先生の下さった補助教材ばかりしていましたが、それだけできちんと全パターンの解き方を網羅することができました。卒業して、逆の立場に立つようになって、鉄緑会の先生方の授業教材がどれだけ素晴らしかったかということが身に染みてわかりました。また、難しい問題をたくさん解かされていたので本番どんな問題が出て来ても焦らずに解くことができました。それに、頭のいい人たちが身近にいたので本番周りの雰囲気におされることなく受験できました。

大変なこともありましたが、先生方には大変迷惑をかけてしまいましたが、私は5年間鉄緑会に通えてよかったなと思います。本当にありがとうございました。 阪大理 K・M(附天卒)

高1、2のツケで辛かった高3の追い込み

僕は高校1年生からの3年間、数学と英語を鉄緑で学んでいました。高1、高2の間は勉強にほとんど身が入らず、クラスも上下を繰り返してました。特に高校2年では学校のイベントが楽しく、授業に取りあえず出ているだけという状態であえずいてました。高校3年になり、数学は中川先生、英語は松葉先生のクラスとなりました。高3になったころの僕は、今までのツケのせいで英語が悲惨なことになっていました。松葉先生との面談で、とにかく高1、高2の英文解釈をやり直すことになり、3ヶ月をメドになんとか毎週ひたすら英文を読んでいました。この時点では別に目に見えて点数が上がったわけでもなかったのでもよくなりましたが、今になって思えば僕の英語の基礎は、この段階で（すごく遅いですが）でき上がったのだと思います。数学に関しては、普段の勉強量が余りにも少なかったの、せめて宿題だけでもと思い、きっちりやるようになりました。何だかんだといつも話を聞いてくれた中川先生、あれほどサボリ癖のあった僕を更生してくれた松葉先生、最後の1年間本当にありがとうございました。 東大理 I N・Y(灘卒)

問題演習が充実

僕は数学・物理・化学を受講していました。鉄緑会ではどの科目も問題演習が充実しているので、色々な問題に触れることができ、本当に実力がつきました。また、モチベーションが高く優秀な人が多く、勉強しないとなあと思わせてくれる環境だったのも自分にとって良かったと思います。先生と生徒の距離が近いのもいい所で、どんな相談でも親身になって聞いて頂けました。教えて頂いた講師の皆様方、ありがとうございました。 東大理 I T・Y(東大寺卒)

文系だからこそ鉄緑会の数学(数学を得意科目にすることで圧倒的に有利)

僕が鉄緑会にお世話になったのは、高校2年の春からだった。数学が得意な灘校生に囲まれて、数学に苦手意識を持っていた僕は、友人が多く通っていた鉄緑会の数学を試してみようと思ったのだ。その時にはもう文系に進むと決めていたので、周りからは、なぜ文系なのに鉄緑の数学に通うんだ、と何度も言われた。しかし今受験を終えて振り返ってみると、文系だからこそ鉄緑会の数学に通っていて本当に良かったと思える。これまでの文面でわかるかもしれないが、鉄緑会の文系数学は、こんな本当にいるのかと思うような難しい問題も数多くこなしていく、そんなところだった。そして結果的に、僕にはそれが非常にためになったのだ。高校3年になるころには僕の数学に対する苦手意識も薄れていき、数学は僕の武器となった。文系の大学受験において、数学が武器となることはこの上ない強みとなるということは、この受験を通じてひしひしと実感したことだ。僕の合格の中で、鉄緑会の存在はとてとても大きいと思っており、非常に感謝している。近藤先生はじめお世話になったみなさま、本当にありがとうございました。 東大文 I O・Y(灘卒)

合格体験記

1、受験勉強の思い出

あなたがもしある科目を集中的に勉強して、その後すぐに成績が伸びたとしても安心しない方がいい、これはおそらく全ての科目にいえることだが、成績を伸ばしていく過程においていくつもの？があるようだ。僕の場合この現象が一番顕著に出たのが、英語だった。4月に一念発起して塾に入り、単語帳を買い、文法を覚え、長文もたくさん読んだ。すると不思議なことに、塾の小テストでの成績が急が上がった。初めは記号選択のカンがよくだっただけだと思っていたのだが（実際自信のない所ばかり正解していた）、あまりに長く続くのでこれはひょっとして英語力がついてきたんじゃないかと浮いた自信を持つようになった。そんな空っぽの自信を抱きながら挑んだ夏の河合、駿台の東大模試で、僕は撃沈した。思うにいつも同じ教室でいつもと同じ先生が前に立って受ける塾の小テストと、なじみのない場所でも知らない人たちと一緒に受ける模試とでは試される力がまるで違うのだ。後者の方では（もちろん入学試験はこちらである）、やっつけの学習で得た上滑りの知識は排除され、解答用紙に反映されるのは長い反復で染み付いた本当の力だけなのだろう。僕はこの夏の模試以来、塾のテストの成績など全く気にしなくなり、たとえ正解しても少しも自信がなければノートに書き写し、強化期間など作らずに継続的な勉強を心がけるようになった。それでも何度も壁にぶち当たった。ただ、全てが終わった今やっつと言えることは、壁に直面したとき以前よりバカになったと感じても、それは間違いないことだ。「前の方がよかった」なんてことはあり得ない。その時には必ず力がついていて、その壁を乗り越えた時、レベルが上がったポケモンのように、跳躍した力を手にするのだろう。思うに勉強とはその繰り返しなのだ。

2、具体的な勉強方法について

※ 受験を意識して勉強したといえるのは最後の1年間だけなのでその時期について書きます。

英語・数学は1年を通して受験勉強の中核に置き、予習・復習・リスニングなど最低限の項目を毎日やることとして位置づけた。これを基調とし、時宜を見て社会・国語や英数の苦手分野の強化などを行った。社会は暗記科目だから集中的にやればすぐに伸びるというのは誤りで、テキストを何周かして初めて気づく重要な事項もあるし、もちろん記憶は薄れてゆく。世界史についてはツリ一式の（矢印や線で文章が結ばれてるやつ）教材を中心に、普通の教科書を副教材としてたまに読むことをお勧めする。前者で事象の連関や用語を徹底的に覚え後者で全体の流れを確認する、みたいな。3つ以上の教材を使うのはやめといた方がいいと思う。また、現役生は最後まで伸びるというのは本当で、センター試験期の勉強の仕方が案外合否を左右する。僕は冬まで日本史が手付かずだったので、センター世界史選択のくせにこの時期やっぱり日本史を勉強、これがあれば絶対間に合わなかった。なおかつ

無駄だなあと思いつつもセンター勉強を二次に役立てるべく、古文単語など今まで手をこまねいていた基本事項をこの度完ペキにした。この時期の勉強は案外…でゆうかかなり大事だと思う。
東大文Ⅰ M・N(灘卒)

鉄緑での5年間

僕は中2の初めから鉄緑会に入塾しました。最初は中学受験の時代に大量の宿題で場慣れしていたせいか、鉄緑会の初めて受けた授業で出された宿題と授業中にやる演習量を目の当たりにしてもあまりおじけづかず、(まあ実際1年のブランクもあったわけだし、時々あまりのすることの多さに挫折し幾週かの宿題を放っばり出した時もありましたが)取り組むことができました。しかし中学受験の時にも体感したように、大量の演習量を着実に吸収していくことで得られる実力と経験値は勉強よりも遊びに重点を置がちな中学時代ではなかなか得られ難いものであり、学校の学習はおろか大学受験を終えた今となっては、非常に良いものだったと思います。事実、中学では意味不明だった英語も知らずのうちに得意科目になりました。

合格してからも思うのですが、鉄緑会がよく言われるマイナス評価として、「講師が大学生だから…」という文句に最後まで異論を唱え続けます。しかし、僕にとってもあまり親身に対応してくれない、やや冷たいプロ講師陣よりも受験生の目線に立って教えてくれる鉄緑の先生が圧倒的に上です！！
最後にりましたが、今まで教えてくださった先生方、特に数学の村石先生、ありがとうございます。
東大文Ⅰ T・T(星光卒)

中1～高3の6年間 鉄緑仕込の英数

東大の社会は記述を中心として問題のレベルが高く、高3では相当苦しみました。中1～高3の6年間で培った鉄緑仕込みの英数の力でしっかりカバーすることができ、無事に東大文Ⅰに合格することができました。

校内模試前にしかまともにも勉強せず、通学に疲れて授業中は居眠り放題だった私を気長に見守りサポートし力を伸ばして下さいました先生方、本当にありがとうございました。口下手で、先生に感謝の言葉も言えないまま東京に来てしまいましたが、鉄緑での熱い日々は決して忘れません。
東大文Ⅰ M・R(神女卒)

鉄緑の経歴

H1、1月より数学、英語A3

学校の勉強の合間にする程度のスタンス

H2、前、数学、英語、数ⅢCA2、後、数学、英語A1、数ⅢCA4

mainが鉄緑での学習に移行

問題集、予習をなるべくこなすようにした。復習はしなかった。英語があまりついていけない気がしなかったため、英単語を読む時間を増やしたり、学校でも英語の時間は集中しようとしていたりした。数学は、自分が気が向いた問題を中心に解いていた。物理、化学は高3になってからで十分と考えていたため、鉄緑の休みの講習をとる程度で、基本的に学校のペースに合わせていた。ただ、そこでもらったプリント群は、基礎知識を詰め込むのにちょうどよくまとまっていたので、高3以降に化学を伸ばすのに役に立った。また、夏休み等には、暇な時に自習室を利用して学習した。

H3、数学A2、英語SA2、化学A3→A1

鉄緑の学習 α で市販参考書をこなすぐらい

この時期には、数学はほぼ学校の授業と鉄緑での学習以外は解けなかった。英語は、岡先生の問題を解く形式とその解説が性に合っていたので、少しずつ安定するようになっていった。問題集にはそれほど手をつけていなかったが、演習不足を感じるならすべきたと思った。物理は他塾にて習っていたが、夏期講習は受けており、そこで学んだことで本当に役に立った部分があった。化学は、初めは玉置先生、後で武田先生に習ったが、玉置先生には基礎知識をガンガンやってもらい、武田先生には応用をしてもらったので、自分の中ではこの流れが一番良かったと感じた。入試が近づくにつれて、緊張が高まっていったが、鉄緑のおかげで、模試で成績を残せたために、自信を持って進むことができたと思う。鉄緑が無かったら、自分ではそこまで効率的に学習はできなかったから。
東大文Ⅰ K・T(灘卒)

鉄緑会はすごい！

僕は高2から鉄緑会で英語と数学の授業を受けました。評判に聞いていた通り、1回の授業で扱う量は膨大でしたが、授業時間を延長してその回の分が完結するまで徹底的に教えて頂けたので、充実感をもって毎回の授業を受けることができました。授業のない日も、市販の参考書にはない体系性をもったテキストや問題集を繰り返し返すことで、相当の学力を付けることができました。また先生方は皆、フレンドリーで相談や質問にもすぐに応じてくれましたし、ハイレベルな質問の存在のおかげで、常にやる気を保つことができ、こういった面で鉄緑会は最高の学習環境でした。鉄緑会の皆さん、今まで本当にありがとうございました。
東大文Ⅱ T・N(灘卒)

中高6年間全教科受講

中1～高3まで本当に長い間お世話になりました。鉄緑では、周りはかしこい人ばかりだし、宿題は多いし、テストはしんどいし、苦勞することも多かったのですが、それでも頑張ろうと思えるような、素敵な先生方や友達に出会うことができました。高3まで志望校が決まらず、悩みながらもふらふらしていた自分がここまでこれたのは、鉄緑会でいろんな先生方の支えがあったからで、本当に感謝しています。

鉄緑会で、全部の科目を受講して時々しんどいこともあったけれど、たくさんのご事を身につけることができ、たくさんの人に出会って、本当に恵まれた受験生活がおくれたと思っています。

6年間楽しかったです。本当にありがとうございました！

神大医 S・M(神女卒)

中1からお世話になりました

私は中1の最初から鉄緑会でのお世話になりました。特に数学は答案の書き方を完璧に身につけられたので、入試でも自信を持って解答できました。中学の間に適切な答えの書き方を身につけることは大きな武器になるので、大切なことだと思います。

また、鉄緑会の先生はとても生徒思いで、フレンドリーなので、質問もしやすく、他塾と比べても自慢できる点だと思います。

私が現役合格できたのは鉄緑会のおかげだと断言できます。今まで6年間、本当にありがとうございました。

神大医 H・Y(神女卒)

鉄緑会での日々

僕は中3から英語と数学を受講しました。鉄緑会の授業やテキストは非常にクオリティが高く、しっかりと予習と復習をすれば参考に必要ないと思います。また、周りの友達はとても熱心な人が多く、勉強する上でも刺激になりました。それに、先生が大学生ということもあって、気軽に相談が出来るととても助かりました。

最後になりましたが、事務員の方や、鉄緑の先生方、特に直前期に過去問の添削をして頂き、貴重なアドバイスを下さった増井先生、チューターとして支えてくださった宮脇先生、本当にありがとうございました。
京都府立医 H・T(灘卒)

周りのレベルが非常に高く、良い刺激・いい環境

私は高1から鉄緑会に通い始め、高2からは物理、化学も鉄緑会にお世話になりました。周りのレベルが非常に高かったので、よい刺激となり、とてもいい環境で勉強することができました。毎週復習テストがあり、半年に1回は校内模試があり、復習する習慣が身につきました。高2の秋までは部活もやっていたので、短い時間の中で集中して密度の濃い勉強をするように心がけていました。宿題や先生が言われることをきちんとこなしていけば、きっと力はついていくと思います。

また、先生方が大学生であり、実際に受験をされているということで、アドバイスは非常に役に立ち、相談にもよく乗ってもらえました。先生が毎回の授業で教えてくださるたくさんさんのプリントにも感動でした。

最後になりましたが、よく面談をしていただき、その度に励ましてくださった中川先生、チューターの岡田先生、宮脇先生、松本先生をはじめ、お世話になった先生方、事務の方や、本当にありがとうございました。
京都府立医 K・S(四天卒)

鉄緑会にありがとう！

私は中1から高3までの6年間、鉄緑会にお世話になりました。この塾では、とてもレベルの高い、かつわかりやすい授業を受けることができました。また、生徒1人1人をしっかりと見て下さるたくさんさんの先生に恵まれました。

受講していない科目も、またその勉強法もわからずに困っていた時に、担当ではなかった先生が何時間もかけて教えて下さり、課題が多すぎて何に手をつければ良いかわからず焦っていた時に空回りしていた時も、チューターの先生は細かく、丁寧なアドバイスを下さいました。また、試験の前日や当日、緊張して弱気になっていた時も、先生方に明るく、また力強く励まして頂きました。とても頼もしかったです。

このような鉄緑会の先生ならではの勉強面での、また精神面での支えがあったからこそ私の合格があったのだと身にしみて感じています。鉄緑会に6年間楽しく通わせてもらって本当に本当によかったと思っています。

担当して下さいました岡先生、木下先生、中河先生、平田先生や岩重先生、お世話になった先生方、事務員さん、どうもありがとうございました。

京都府立医 K・N(金蘭卒)

中1からの6年間

私は、中学1年生の時から鉄緑会に通っていました。中2までは正直、まじめに宿題すらせず、中3になってさすがに危機感を感じ、やっと勉強を始めました。そして、中3の終わりのほうには、何とか周囲に追いつきました。高校生になり、数学は鉄緑会、英語は通信教育、理科は学校の授業をメインに勉強しました。高1の後期には、医学部に進むことを決め、数ⅢCの授業も鉄緑会で受講しました。どこの塾よりも早く数ⅢCの授業が開講されるので、他塾に通う人に比べ、余裕が生まれると思います。高2のときは、勉強しても空回りしていると感じたことが何度もありましたが、今までさぼっていたんだから当たり前だと思って、前向きに考えていました。理科は、冬期講習などの集中講座で鉄緑会を利用しました。高3になって初めて駿台模試を受けたとき、判定がひどく、もう医学部は無理かと思いました。しかし、チューターの福田先生との面談で、自分で反省するところは反省しなければ

いけないけれど、医学部は浪人生が多いからまだこれからだとも言われて、また頑張ろうと思いました。周りの子がやっている問題集が気になって、自分で立てた計画が揺らいだり、模試の結果を見てやる気がそがれそうになった時もありました。でも、計画や考えの甘い部分を先生から指摘されたり、励まされたりしながら、何とか受験を乗り切ることができたのだと思います。鉄緑会はテキストが良いだけでなく、実際に受験を経験した先生方と話をすることで、精神的に支えられれる場面が多くありました。

最後になりましたが、鉄緑会でお世話になったすべての方々へ感謝したいと思います。ありがとうございました！ 大阪市立医 S・H(神女卒)

鉄緑会での3年間 地道に努力続けた

僕は高1から高3までの3年間鉄緑会にお世話になりました。入塾した当初はその授業とテキストのレベルの高さと宿題の量にとても驚きました。しかし真面目に授業に出席し、授業を受け、宿題をこなし、復習をするという、地道ですが確実な方法を続けていくと、それまで不安定だった成績が安定していくのが自分でもよく分かりました。特に僕の場合、ひどかった数ⅢCを何とかするために鉄緑の問題集や復習テストを繰り返しやったり、クラスが4つあがり、数ⅢCがいつの間にか自分の得意分野になっていました。これも鉄緑会のテキストの質と講師の良さのおかげに他ならないと思います。また、鉄緑会は生徒のレベルも高く、自分のモチベーションを高く勉強を続けることができたのは本当に良かったです。

受験において与えられたものをしっかりこなし、着実にやっていくことが最も大切なことだと思います。その点で鉄緑会は最高の環境であると思います。

最後に、受験までの間、面談やメールなどで励まし続けてくれた中川先生をはじめ、その他のお世話になった先生方に感謝したいと思います。ありがとうございました。 大阪市立医 M・F(星光卒)

鉄緑会での3年間

私は高1の時から鉄緑会に行き始めました。中学時代はろくに勉強もせず遊んでばかりいたため、高校生になってもそれではまずいと思ったからです。入ったばかりの頃は授業の進度の速さと膨大な量の宿題に圧倒され、それらをこなすだけでも大変でした。正直、始めの1、2ヶ月は全てこなしきれない状態でした。しかし、ただひたすら追いつこうと努力しているうちに授業にもついていけるようになり、最初は共にB1だったクラスも高2になると英語はA2、数学はA1にまで上がりました。鉄緑会の教材は質もよく量も多いので、それらにしっかりと取り組むだけで難関大学に合格するだけの実力は十分つきます。もちろん内容は高度なものを扱っているの、わからないこともありますが、教師の方々に質問すると納得できるまで何度でもわかりやすく教えてもらえるので疑問を残さずに済みます。教師の方々は皆大学生で年齢も近いので質問しやすいし、質問に答えてくれるだけでなく勉強方法や進路について相談しても親身になって一緒に考えてくれるので本当に頼りになります。ここで振り返ってみると、現役で国公立の医学部に合格できたのは、高2までで英語と数学が完成していたことが大きいと思います。上で述べた通り鉄緑会のカリキュラムを全てこなすだけで、高3になる頃には英語と数学は受験レベルにまで達していました。それがなぜ合格につながるかというと、高3では英語と数学は定期的に勉強することによって現状を維持するだけでなく、理科や社会の勉強に集中できるからです。私は物理が苦手だったのですが、高3の1年間物理に重点をおいて、同じ問題集を繰り返しやったりして苦手克服に励んだところ、入試当日は物理と化学でどちらもほぼ満点をとることができました。もし鉄緑会に通っていなかったら、高2までに英数が完成せず物理に集中して勉強することができず、どの科目も中途半端になってしまっていたでしょう。私が合格できたのは鉄緑会、そして教師の方々のおかげです。ありがとうございました。 大阪市立医 A・S(星光卒)

先生と生徒の距離が近い

私は、中1から高3までの6年間、鉄緑会にお世話になりました。始めのうちは、授業の長さや宿題の量の多さに驚いていましたが、早くから鉄緑会に通っていたため、徐々に慣れていき、高校での勉強もそれほど大変には思わなくなりました。また、鉄緑会の良いところは、半年に一度校内模試があることです。私は部活をずっとしていて、宿題が疎かになることもありましたが、このクラス分けテストがあるおかげで、さぼったところをやり直して、穴を埋めていくことができました。鉄緑会で与えられたものをするだけで、自然と力がついてくると思います。

勉強面以外での良いところは、先生と生徒の距離が近いことだと思います。先生方はとても親しみやすく、悩んでいるときも色々相談して下さって心の大きな支えになりました。同じ受験を経験してきた先生方のアドバイスに本当に助けられました。高3で教えていただいた、宮脇先生、小泉先生、玉置先生、西河先生を含めた大勢の先生方、事務所の方々にも感謝しています。 大阪市立医 M・E(附天卒)

「こつこつと努力し続ける」ことが一番大事

私は高1の春から3年間、鉄緑会にお世話になりました。この春、私が第1志望校に合格できたのは、本当に鉄緑会のおかげとしか言いようがありません。

私は公立の中学校に通っていたので、初めて授業を受けた時は衝撃を受けました。今まで高校受験のためにやってきた勉強は何だったんだろう…と思いました。でも、落ち込んでいる暇はなく、最初は必死で授業についていくことしかできませんでした。英語は何とかレギュラークラスに入れたいけれど、数学は高1の間はN、高2の間はQクラスで基礎固めをしました。公立の中高に通っていた私にとっては、そのクラスでの丁寧な授業はとても有難く、数I A、II Bの土台をきちんと与えてくれました。

高2になり、だんだんと鉄緑会に慣れていくと、他の学校の人も仲良くなることができました。同じように医学部を目指している人が多い鉄緑会でできた友達、本当に私にとってかけがえのないものでした。友達が頑張っている姿を見ると私も頑張らないとあかん！と思えたり、成績が思うように伸びない時に相談もできました。学校の壁を超えて様々な人と話することができるアットホームな雰囲気が好きでした。

そして、鉄緑会の先生は、本当に素晴らしい先生ばかりです。授業はもちろん丁寧で分かりやすく、さらに、私が質問に行くと、習った事のない先生でさえ、やさしく教えてくれました。高2の頃は、ほぼ毎回、授業前に質問に行き、分からない問題を消化するようにしました。高3ではよく相談に乗ってもらいました。志望校をどうするか悩んでいた時も、先生の一言で決定することができました。その時に滋賀医にしばれたことも、合格へつながったと思います。

受験を通して、「こつこつと努力し続ける」という地道な作業が1番大事だということを知りました。努力は必ず結果に結びつくはずで、

鉄緑会という最高の環境で勉強できたことをうれしく思っています。最後になりましたが、つらい時も私を支えてくださった先生方、事務のみなさん、友達、家族に心から感謝しています。ありがとうございました。 滋賀医科 I・Y(茨木卒)

授業後の特別授業に感謝

僕は中学3年生になってすぐに鉄緑会に入りました。その時は数学だけだったのですが、学校の数学に限界を感じており、どこか塾に入ろうと思っていた友達にさそわれたのがきっかけでした。いざ、鉄緑に入ってみると、三角関数とか、学校では習っていないところばかりで、落ちこぼれそうになりました。そのときに岡田先生が授業が終わった後にも特別に授業をしてくれたのです。他塾ではありえないことだと思います。岡田先生のおかげで何とか授業についていくことができ、挫折せず今までやってこれたと思います。鉄緑会ですごした時間はかけがえのないとても楽しい時間でした。

最後に、僕を受け持ってくれた先生方、特に宮崎先生、岡田先生、新井先生にはとても感謝しています。4年間どうもありがとうございました。 和歌山県立医 I・M(星光卒)

鉄緑ほんま ありがとう!!!

私は中1の7月に鉄緑にはいりました。たった3カ月入塾が遅くなっただけなのに、学校の進度はそんなに早くなかったので追いつくために中1の夏休み必死になったのを覚えています。

中1から高2までは校内模試に向けて勉強することで、もれなく基礎を固めることができました!! 高2まではどのクラスも同じテキストを用いて同じ進度で進むので、私は最初OPクラスだったけれど、与えられた課題をこなすだけでクラスが上がっても、ちゃんとついていけることができました。

私はとにかく数学が苦手で、中3の時なかなかクラスが上がらなくて悩んだ時がありました。富山先生になんでもやってもできないのか、とにかく質問しまくって、とことん先生は付きあってくれて前向きにないことを覚えています。(先生ほんまありがとう!) 本当に鉄緑で与えられた宿題をやり、復習テストの勉強を授業前にするだけで自然と実力がついていこうと思います。もちろん、それをさぼらざることがなかなか大変でした。私の場合は学校の進度と鉄緑の進度は異なっていました。逆にその方が忘れていく範囲を減らすことができたように思います。

鉄緑の自習室は他にはない緊張感があって、周りの集中力のすごさに圧倒され、高3はほぼ毎日通いました。

鉄緑の良いところの1つは、クラスの人数が少ないのですぐ先生と生徒、生徒同士が仲良くなれることです。違う学校でも仲良くなれ、彼らから得た刺激は非常に大きいです。先生は医学部の先生が多く、先生の勉強法も参考にすることができました。もちろん、受験は自分で自分なりに勉強することも大事ですが、良い指針を教えてもらえるということ、また身近に先輩がたくさんいるということである程度要領をつかめることは有利になると思っています。

今までお世話になった先生方、ほんとにありがとうございました。 金沢大医 K・K(附池田卒)

夢を叶えてくれた鉄緑会

私は高校1年から鉄緑会にお世話になりました。小学校から高校まで一貫の学校に通い、学校中心の生活で、小さい頃から続けていたバイオリンにも力を入れていたため、中学校までは受験とはかけ離れた環境にいました。「医学部に行く!」という目標を胸に、高校生になると同時に鉄緑会に通い始めましたが、最初はまわりの友人のレベルや意識の高さ、ハイレベルな内容の授業にショックを受け、不安の連続でした。そんな私を支えて下さったのは先生方です。授業での分かりやすい解説などはもちろん、どんな質問にも丁寧に答えて下さったこと、進路についても真剣にアドバイスして頂き、志望校の先輩も紹介して下さいました。落ち込んでいる時に励まし、どうすれば良いのかと一緒に考えて下さったことなど、勉強面だけでなく精神面でもサポートして頂きました。「本番で問われるのことに對して干にも及ぶ勉強をしなければいけないけれど、見方を変えれば受験は今までの努力を認めてもらう最高の舞台でもある。」という乗本先生の言葉は受験生だった私をどれだけ励ましてくれたことか…。

本当に大変な道のりでしたが、先生方にかけて頂いた言葉や、「鉄緑会で今まで頑張ってきた」という思いは試験当日にも、私を支えてくれました。お世話になった先生方、特に乗本先生、栗生先生、谷口先生、宮脇先生に本当に感謝しています。夢を現実にしてくれる場所、それが鉄緑会だと思います。

大変だったが力がついた

中2の冬から数学、高校から数学ⅢC、化学、物理でお世話になりました。鉄緑に入る前は学校の勉強ぐらいしかやっていなかったもので、入ったすぐは、授業のスピードと宿題についていくのが大変でした。毎回復習テストがあったので、サボりがちな私も、宿題をやらなきゃという気になりました。

高2のときが理科も増えて一番大変だったと思います。ですが、この時期に力がついたのではないかと思います。

高3のときは、テストセミ形式の授業が多く、入試問題の形式に慣れることができたように思います。

地方国公立では、センターの比率が高いですが、私はとてもセンターが悪かったので、内心今年は無理かな…と思っていました。ですが、2次でまきかえすことができたのも、今まで鉄緑で2次の演習をやってきたからだと思います。チューターの宮崎先生をはじめ、西河先生、松平先生、他にもたくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。山形大医 N・A(四天卒)

どの塾・予備校よりも良く、早く入った方が良い塾

私は高2の1月に入塾しましたが、何故もっと早く入らなかったのか後悔しています。高2まで適当に勉強していた私は、先生の親身ある指導や少人数制のクラスや教材の充実には驚くことばかりでした。何件か塾に通っていたことがあった私は、どの有名予備校にも負けない鉄緑に感激することばかりで、またとても楽しいと感じました。いろいろな学校から集まる友達、大学生である先生と授業は時間を感ぜさせませんでした。他の合格者と違い、通っていた期間が短い私がお伝えできるのは、どの塾・予備校よりも良く、早く入った方が良いということです。初めは恐れを抱いて入塾した私も、すぐに慣れることができました。

本当にお世話になった富山先生、宮脇先生にお礼を申しあげたいです。

京都薬科 I・Y(清風卒)

(合格者の声は一部の方のみとなっております)